

社協の第2次計画
つながりふくし
プラン

はじめて
実施

社協役職員業務研究会 理事と職員が 共に学び研究!!

理事会の役割を強化 するために

平成23年6月に策定した「宍粟市社協第2次地域福祉推進計画（つながりふくしプラン）」。
同プランでは、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、「本会の基盤強化を進める」ことを推進目標のひとつにあげています。
それには、執行機関である理事会の役割を重視し、その機能が発揮できるようにしなければなりません。

本会では合併後、理事一人ひ

本会では、この10月と11月に役職員による「業務研究会」に取り組みました。

これは全理事と地域福祉担当者など職員が4つのグループに分かれ、研究テーマを決めて先進的な取り組みをしている社協を訪問し、調査・研究を行うものです。

今号では、この「業務研究会」について、報告します。

宍粟市社協「業務研究会」研修内容

	日程	研究テーマ	研修先
1班	10/15 (月)	権利擁護事業の推進について	滋賀県 高島市社協
2班	11/29 (木)	毎日型配食サービスの実施について	兵庫県 朝来市社協 香美町社協
3班	11/27 (火)	限界集落化していく地域での福祉活動について	京都府 南丹市社協
4班	11/16 (金)	ご近所ボランティア活動の推進について	滋賀県 大津市社協 桜馬場自治会

この研修には4班合わせて、理事14名と地域福祉や配食サービス、総務など研究テーマに関係する職員17名が参加しました。

4つの研究テーマを設定

とりが役割と責任を理解し、地域福祉について幅広い知識を持つように努めてきました。
月1回のペースで理事会を開催する他、支部ごとに設置された「支部地域福祉推進委員会」への参加や、「支部かわら版」の編集等社協活動に積極的に関わっています。

また、職員についてもそれぞれの専門性を高めるため、日

頃から職場内研修に計画的に取り組むほか、資格取得や外部研修への参加などを奨励しています。

今回の業務研究会では、つながりふくしプランの75ある個別活動項目のうち、重点的に取り組む4つの個別活動項目（研究テーマ）について、先進的な取